

令和7年度大学入学共通テスト

人間環境大学（岡崎キャンパス） 試験場案内

1. 試験場本部

1号館2階事務局に設置します。

2. 試験場への入構について

- 本学受験の受験者に限り、学内に入構できます。正門にて受験票の確認を行いますので提示してください。保護者及び高校教員等についても学内への入構は禁止しています。
- 自動車、タクシー、バイクでの構内への乗り入れを原則禁止します。自転車は、正門付近にある駐輪場を利用してください。

3. 試験当日の開門時間について

令和7年1月18日（土）、1月19日（日） 午前8時

開門後、試験室入室開始時刻までの時間、4. 受験者控室で待機することができます（暖房あり）。

4. 受験者控室について

学生食堂、談話室、221大講義室を開放します。

開放時間：午前8時～試験終了時刻

5. 試験室への入室について

- 試験当日、各試験室入口付近に1日目（地歴・公民）、2日目（理科）の入室開始時刻を掲示します。
- 試験室への入室にあたり、上履きは不要です。
- 受験登録科目以外の時間に試験室のある建物に立ち入ることはできません。
- 次の科目を引き続き受験する場合、休憩時間中は試験室にとどまることが可能です。
- 試験室は換気をします。防寒着を持参してください。

6. 試験室配置

試験室名	号館名・階	受験番号
411教室	4号館1階	1001A - 1119Y
311教室	3号館1階	1120M - 1157H
321教室	3号館2階	1158C - 1196U
512教室	5号館1階	1197R - 1234U
531教室	5号館3階	1235R - 1289H
232教室	2号館3階	1290Z - 1326K
241教室	2号館4階	1327H - 1398Z
513演習室	5号館1階	1399Y - 1399Y
515教室	5号館1階	1400A - 1400A

7. 休養室（救急処置）の設置について

5号館1階514演習室に設置し、看護師が待機します。

8. 学生食堂、コンビニの営業について

- 大学入学共通テストの2日間は休業します。昼食は必要に応じ持参してください。飲み物の自動販売機は利用できます。
- 昼食は、試験室の自分の受験番号シールが貼られた席でとることもできます(休憩時間中に限る)。

9. チャイムについて

受験者の入室、試験開始、試験終了時のチャイムは使用しません。また、試験室に時計はありません。

10. 本学へのアクセスについて

名鉄本宿駅より本学正門まで徒歩約8分です(大学入学共通テストの試験日は、スクールバスの運行はありません)。

自家用車での送迎について(注意事項)

構内への車両の乗り入れはできません。また、正門前に自家用車を停車するスペースもありません。

正門前の路上での乗降は大変危険であるため、地元警察署との申し合わせにより禁止しています。

本学より南へ約100mの「JAあいち三河旧本宿支店」駐車場を借用しています。送迎のための乗降場所として使用してください。

タクシーの乗り入れ

タクシーで構内への乗り入れはできません。

自転車の利用

自転車は指定の駐輪場(正門付近)をご利用ください。

11. 試験場下見

令和7年1月15日(水)・1月16日(木) 午前10時～午後4時

注意事項

- (1) 自動車、タクシー、バイクでの構内乗り入れを原則禁止します。自転車は正門付近の駐輪場をご利用ください。
- (2) 試験場下見は建物入口までです。建物内には入れません。

人間環境大学試験場 お問い合わせ先
人間環境大学 入試・広報部
電話 0564-48-7811(代表)

名鉄本宿駅から人間環境大学岡崎キャンパスまでの経路図



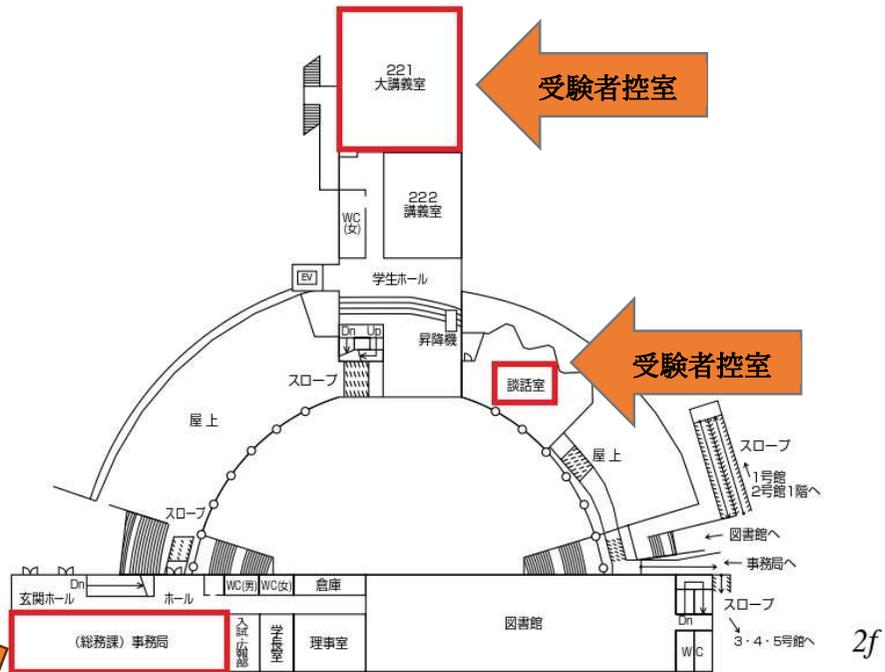
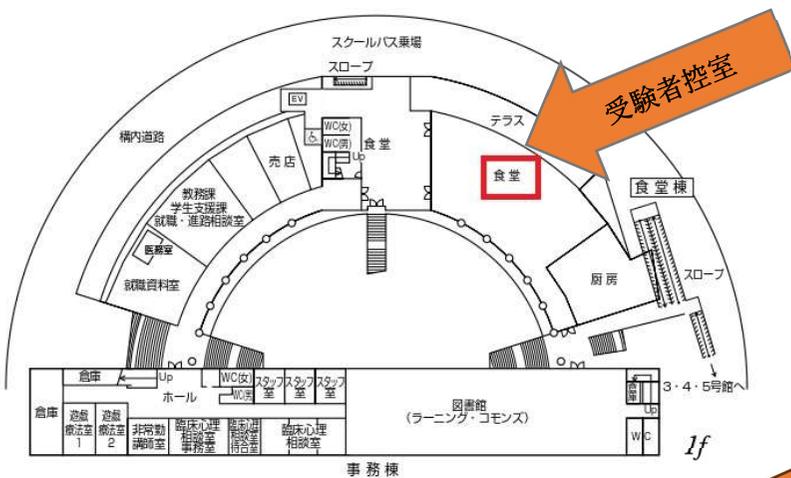
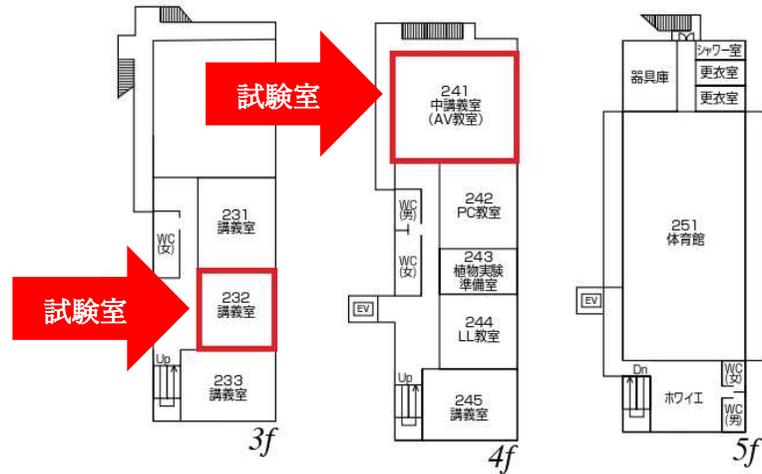
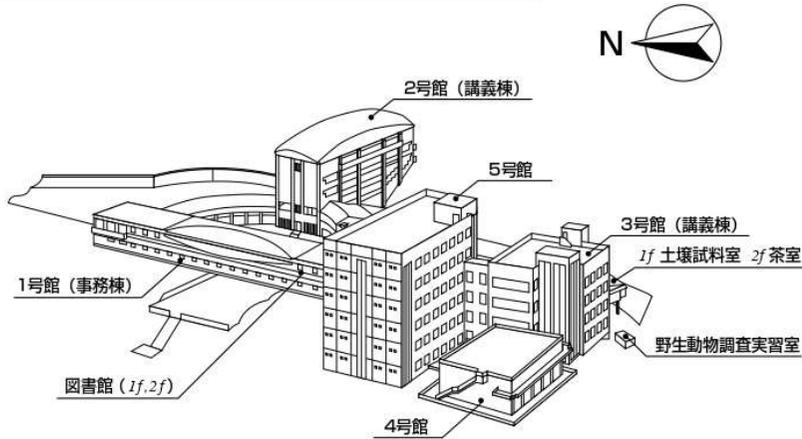
(「Yahoo! Japan 地図」より)

※赤色太線が歩道となります。

※本宿駅から大学の正門まで、徒歩で約 8 分です。

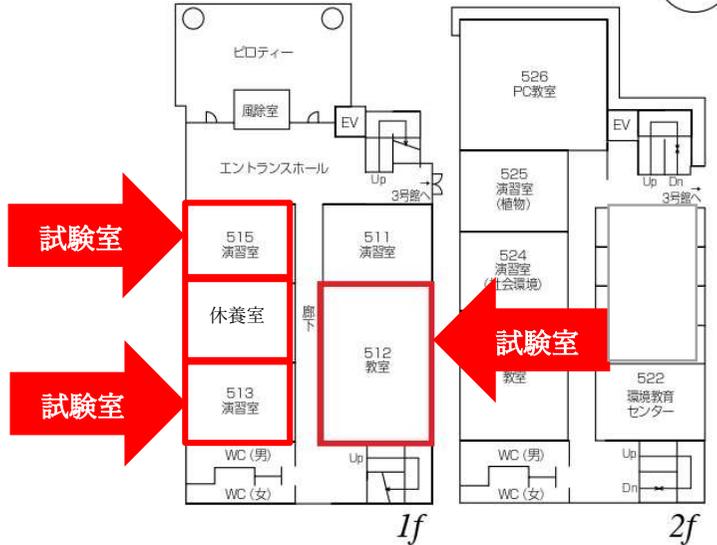
校舎案内図

1号館（事務棟）／2号館（講義棟）



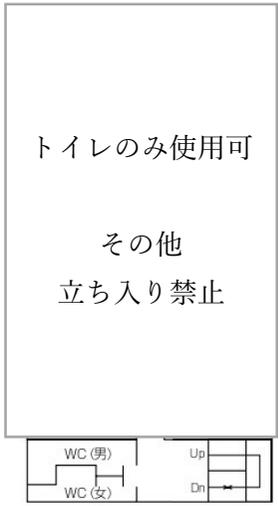
試験場本部

5号館

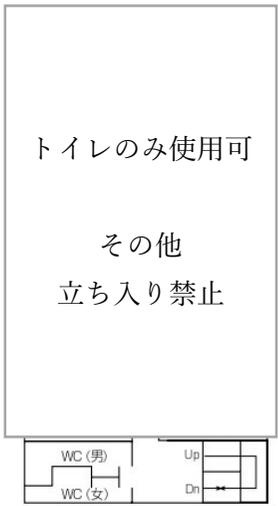


1f

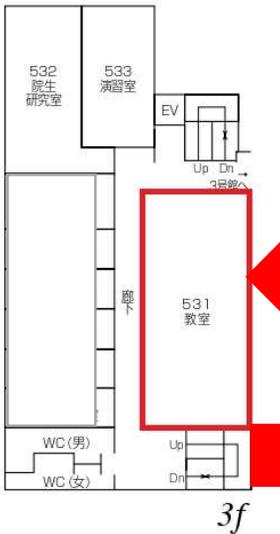
2f



4f



5f

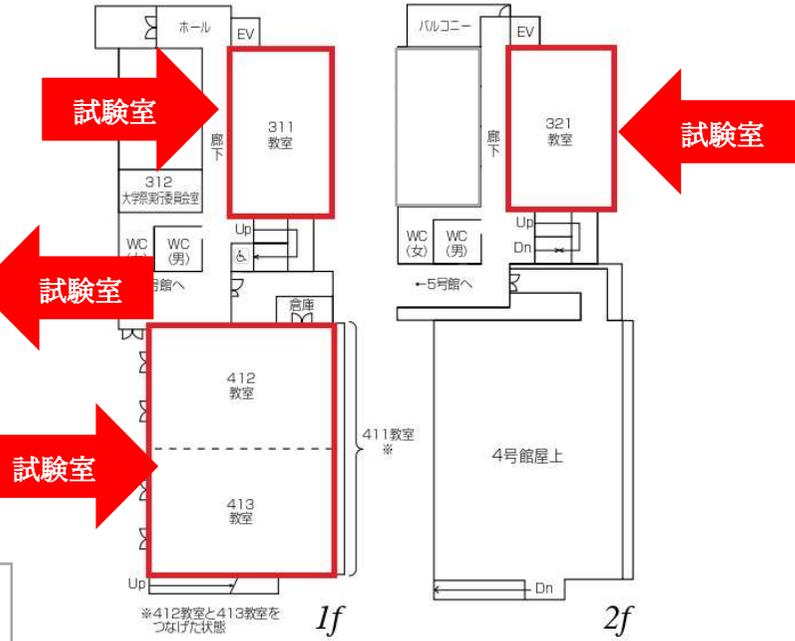


3f



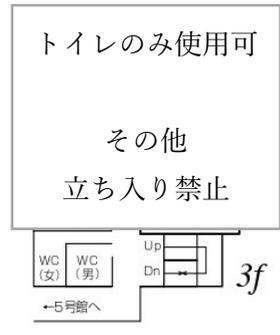
6f

3号館 (講義棟) / 4号館



1f

2f



3f



4f

※412教室と413教室をつなげた状態

震災及び火災発生時における避難マップ

災害発生時の学生行動原則

火災発生時

- 【1】初期対応
火災発生を大声で他者に伝え、避難すること。
- 【2】119番通報
小さな火災でもすぐ119番通報する。あわてず正確に火災発生場所を告げる。
(大学名・建物名・自分の氏名など)
- 【3】避難
学内放送や教職員の指示に従い、落ち着いて避難する。身の安全確保第一。

地震発生時

- 【1】身の安全確保
 - 急いで机の下に隠れるなどして、落下物から自分の身の安全を確保する。
 - 屋外にいたときは、建物のそばに近づかない。割れたガラスや看板などが降ってくる。
 - 【2】火を消す
 - 周りで火を使っていたらすぐ消す、止める。
 - 燃え始めていたら119番通報。
 - 【3】ケガ人発見時の対応
 - 周囲にケガ人はいないか。大声で安否を確認しあう。
 - ケガの人を発見した場合は119番通報で救急車を呼ぶ。
- ※日頃の心がけが大切
一人ひとりの人間が自分の身を自分で守ることが理想。自分の身は自分で守る。
身の安全を確保した上で、他人の救助・救援ができるよう心がける。

大規模災害発生時

- 大規模災害発生時には、とにかく身の安全を確保する。
- 火器の使用を中止する。
- 周囲にケガ人がいないか、大声で確認しあう。
- 帰宅するのが原則であるが、帰宅困難なときは学校に留まる。

災害時避難経路 →

